

## 市民活動団体と鎌倉市による相互提案協働事業 評価シート (令和元年度)

事業名 : 車いす観光バリアフリーマップ作成事業

市民活動団体名 : 特定非営利活動法人 湘南バリアフリーツアーセンター

担当課 : 市民生活部観光課

## (1) 事業着手前

評価項目	団体	担当課	理由(団体と担当課それぞれ記入してください)
協定書作成に当たり十分な話し合いができたか	○	○	【団体】 メールのやり取りで実施。充分出来たと思います。
協定書作成時に対等な立場で話し合いができたか	○	○	【担当課】 事業実施に向け双方の納得のいく形で決めることができたため。
協定書の内容は充分であったか	○	○	
総括(評価のまとめ)	基本的に、メールおよび電話にて協定書の案を送付し合い内容の確認を行った。事業実施に向け、協定書の文言や成果物の著作権に関する条文の書き方など、細かい箇所も話し合い双方の納得いく形で作成することができた。		

## (2) 事業実施過程

評価項目	団体	担当課	理由(団体と担当課それぞれ記入してください)
当初の事業計画どおり行われたか	△	△	【団体】準備不足で開始時点が遅れた。 実施している段階で再度役割分担を見直した方がいいとおもった。例：お寺、神社等の準公共施設及び公共施設の調査のお願いは市が担当下さった方がスムーズだったと思います。
対等な対場で進められたか	○	△	
互いの特性や資源を活かしあって進められたか	△	△	当方の事情でマップのイメージ合わせを含め、当初の打ち合わせ(キックオフミーティング)が十分に出来ていなかったため、マップ(案)が作成された段階でイメージ及び内容を詰めることとなってしまいました。
課題認識、目的、過程を共有して進められたか	△	△	
課題が出た時、話し合いの場を持ち解決できたか	△	△	【担当課】 調査実施までは順調だったが、マップ作成に当初の計画よりも時間を要したため。
総括(評価のまとめ)	調査実施までは、逐一報告をいただき順調であったが、マップ作成の時期にあまり連絡がとれず、期限間近にマップの案を提出いただいたものを観光課で確認するのに急を要した。今後は、進捗状況等の逐一の共有は必須である。		

(3) 事業実施結果

評価項目	団体	担当課	理由(団体と担当課それぞれ記入してください)
設定された目標(評価項目)は達成されたか	○	△	<p>【団体】</p> <p>サービスは向上したか、効果があったか等は現段階で評価して下さいと言うのはナンセンス。次年度以降で利用開始1年程度たった後に評価すべきものと考えます。</p> <p>従って、無記入。</p> <p>【担当課】</p> <p>効果測定はできていないものの、観光課にて市民への問い合わせへの対応が可能となった。</p>
予算の執行は予定通りであったか	○	○	
定められた役割分担は妥当であったか	△	△	
定められた役割分担は守れたか	△	△	
市民サービスは向上したか		○	
市民と行政の協働事業は効果があったか		○	
総括(評価のまとめ)	<p>今後は、双方で意見交換や状況共有しつつ、並行してマップの編集を行い校正を重ねることを強く希望する。また、当初よりも事業計画に遅れがあったこと、及び新型コロナウイルス感染症拡大による観光客の減少により効果測定はできていないが、車いすの観光客からの問い合わせに対して観光課でも成果物のマップを参考に案内をすることが可能となったため、下2つの評価項目は○とした。</p>		

(4) 今後の事業展望

<p>事業を実施した結果を踏まえ、将来的な視点を含めた総括</p> <p>(評価全体のまとめ)</p>	<p>今後は、マップの掲載内容に関して市民活動団体と観光課で協議を行い、その都度協議内容を案に落とし込んだものを相互で確認し、校正を行いたい。また、効果測定ができていないものの、各施設のバリアフリー情報について、より詳細なものが記載されるとなお良い。たとえば、飲食店の各机や隣の客席との幅、観光施設へ行くまでの通路の傾斜など、調査結果を細かく反映することを希望する。</p>
---	---

※理由及び総括欄は、別紙で提出しても結構です。

※総括は、市民活動団体と担当課で協議した上で記入してください。

★評価の基準

○：十分に達成

△：一部課題があるが概ね達成

×：不達